

千葉大学医学部附属病院で整形外科手術をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年6月23日

整形外科

整形外科では、透視装置を併用した整形外科手術における放射線被ばく線量の安全性評価に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2011年1月1日～2026年6月1日の間に透視装置を併用した整形外科手術をされた方

1. 研究課題名

「透視装置を併用した整形外科手術における放射線被ばく線量の安全性評価」

2. 研究期間

2026年承認日～2031年7月31日

この研究は、附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究は、手術中に使用される透視装置（レントゲン装置の一種）による放射線の被ばく量について調べることを目的としています。特に、人工股関節置換術などの手術において、医師や看護師、患者さんがどの程度の放射線を受けているのかを明らかにし、その安全性を評価します。

研究では、通常の診療の中で得られる情報（年齢、性別、身長・体重、病名、手術内容、透視時間、放射線量など）を用います。新たに検査や治療を追加することはありません。収集した情報は、氏名やカルテ番号など個人を特定できる情報を削除し、代わりに研究用の番号（研究 ID）を付けて管理します。研究 ID に置き換えた情報は千葉大学で解析を行います。

氏名などの個人を識別できる情報や、研究 ID との対応表が外部に提供されることは

ありません。なお、本研究において、国外の機関へ情報が提供されることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、診療の中で得られた情報のみを用います。

具体的には、以下の情報を使用します。

- ・年齢、性別、身長、体重
- ・病名やこれまでの病歴、生活習慣（喫煙・飲酒など）
- ・手術に関する情報（手術の種類、手術時間、出血量など）
- ・手術中に使用した透視装置（レントゲン装置の一種）に関する情報（透視時間、撮影回数、装置に表示される放射線量など）
- ・医師や看護師、患者さんの放射線の被ばく量（線量計という測定機器で測定された値）
- ・手術中の状況（医療スタッフの立ち位置、防護具の使用状況など）
- ・レントゲン画像などの医用画像

これらの情報は、通常の診療の過程で記録された診療録（カルテ）や検査記録、放射線量の記録などから取得します。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院	中村 順一
共同研究機関名	研究責任者
館山病院	平沢 累
東邦大学医療センター佐倉病院	萩原 茂生

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院整形外科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等

に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

整形外科 特任助教 平沢 累

043（222）7171 内線5303